

### Ⅲ. 理学療法学科の人材養成の目的と3ポリシー

#### 【学部の人材養成の目的】

保健医療学部は、医療技術と健康生活の向上や改善に資する理論と技能、人間の運動機能の向上・支援に関する理論と技能、高度医療に不可欠な工学的知識と応用能力を軸とした医療と福祉に関する専門性に優れ、チーム医療を総合的に捉えつつ次代の保健医療学を創造・実践できる人材を養成することを目的とする。

#### 【学科の人材養成の目的】

理学療法学科では、社会生活を送るうえで必要となる知識・理解、汎用的技能、態度・志向性、創造的思考力の習得のもとに、理学療法学分野に関する基礎的な知識及び基本的な技術と態度を有し、地域住民の健康増進や疾病予防、健康寿命の延伸など高度で多様化した社会的ニーズに広く対応できる理学療法士の養成を行い、総合大学での学びを活かして広く地域社会に貢献できる次のような人材を養成する。

- ①理学療法学に関する専門的知識と実践的能力を体得し、卒業直後から指導助言のもとに地域社会の多様なニーズに対応する理学療法士となる人材
- ②保健・医療・福祉制度の下で、他の関係職種と連携・協働しながら、理学療法士の役割を果たしていくことができる人材
- ③社会や保健医療分野の変化に対応し、新しい問題に対して理学療法学をより学際的に発展させ解決へ向けて取り組むことができる人材

## 理学療法学科ディプロマ・ポリシー

理学療法学科は、「科学的市民」の育成という教育理念のもとに以下の資質や能力を身につけ、所定の授業科目を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に、学士（理学療法学）の学位を授与します。

### 1. コミュニケーション力

論理的な思考力、記述力、発表と議論の能力を有し、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。

### 2. 課題を発見し、問題を解決する力

現状を分析し、課題を明らかにした上で、科学的思考に基づいて解決へ向けて取り組むことができる。

### 3. 自らを律し、学び続ける力

目標達成のための計画を立案・遂行できる能力を有し、社会のニーズ及び医療の進歩に対応するために、自己研鑽を継続できる。

### 4. 他者と協力して目的を達成する力

文化・社会の多様性を理解できる幅広い教養と豊かな人間性を有し、他者と協力して前向きに目標を達成することができる。

### 5. 専門的知識・技能を習得し、実践する力

理学療法学分野に関する基礎的な知識及び技術を活用できる能力を有し、安全に理学療法を実施することができる。

### 6. 総合力

基盤能力と専門知識・技術を総合的に活用し、社会の変化に応じて理学療法学をより学際的に発展させ地域社会の発展に貢献できる。

## 理学療法学科カリキュラム・ポリシー

理学療法学科では、基本教育科目、専門基礎教育科目、専門教育科目の有機的な結合によって、理学療法士としての専門能力と専攻分野を通じて学士力を培うことを目指したカリキュラムを設計します。このことを明確にするために、ディプロマ・ポリシーの各項目を達成するために必要な授業科目の流れや、各項目と授業の整合性を体系的に理解できるようカリキュラム・フローを作成します。また、各授業科目の達成目標とディプロマ・ポリシー各項目の関連性を集約したカリキュラム・マップを作成します。さらに、教員団はその組織的関与により、常にカリキュラムの点検評価、及び改善を行います。学修成果やカリキュラムの点検評価の方針をアセスメント・ポリシーとしてまとめています。

1. 豊かな人間性及び幅広い教養を身につけるため、基盤能力、学修スキル、コミュニケーション力を培う基本教育科目、専門基礎教育科目を配置します。
2. 専攻分野に必要な基本スキルを育成するための基本教育科目、専門基礎教育科目を配置し、領域ごとに最適化された専門知識・技能修得のための専門教育科目を配置します。
3. 基盤能力と専門的知識・技能に関連する科目を体系的、効率的に修得できるよう配置します。
4. 自ら学ぶ力の醸成や能動的学修をサポートするため、充実した学内 LAN 環境、e-learning 環境などの優れた IT 環境を提供します。
5. 現代社会の多様なニーズに応えるため、最新かつ高度な知識及び技能を学ぶ専門教育科目を配置します。
6. より実践的な経験を積み、協力・協調する姿勢と自ら課題を発見し、問題を解決する能力を育成するため、現実的な課題を題材とした教材を用いて、少人数グループで行う演習科目、実習科目を実施します。
7. 専門知識や技術を体系的に理解して活用するため、実践的な演習課題や臨地実習を通して、実践的能力と自律的学習能力を育成します。
8. 教育目的達成度調査結果、学生調査などに基づくポートフォリオ面談を行い、学生個々の学習成果とコンピテンシーについて長期的なルーブリックを用いた形成的評価を行います。
9. 1 年次から 4 年次までに修得した知識・技能・態度の到達度と獲得したコンピテンシーについて単位取得状況、GPA、卒業研究により総括的評価を行います。

## 北海道科学大学アセスメント・ポリシー

### － 3つのポリシーと学修成果の評価に関する方針－

本学ではディプロマ・ポリシー (DP)、カリキュラム・ポリシー (CP)、アドミッション・ポリシー (AP) の3つのポリシーに基づく教育の実施と不断の改善・改革を教育の内部質保証の中核ととらえます。本ポリシーは、この3つのポリシーそのものの妥当性と、これに基づく教育の実施にあたっての学修成果及び教育成果（大学、プログラム、授業科目、学生の達成度）の評価の方針を定めたものです。これらの結果をそれぞれの対象にフィードバックするとともに、全学的に集約して教育の改善を組織的に継続して行います。

#### ■教育理念・人材養成の目的と DP の整合性

教育目的達成度調査、学生調査、外部試験などの結果と下記の学科、授業科目、学生に関する評価結果を全学的に集約し、大学全体での学修状況を評価します。また、学生の進路（就職率、国家資格取得率等）や卒業生、企業アンケート、産業界からの意見聴取などから、各学科の DP が社会における顕在・潜在ニーズを踏まえているかとともに、学修成果の水準設定の妥当性などを確認します。

#### ■DP-CP の整合性と学修成果の評価基準

##### ・学科（教育課程）を対象とする評価

単位取得状況・GPA・進級状況、および学科の定める資格の取得状況などで、学年ごとの学修状況を評価します。また、毎年行う教育目的達成度調査、および1・3年次に行う大学 IR コンソーシアム学生調査、汎用的技能・志向性を測定する外部試験などを集計した結果から、教育課程全体を通じた学修成果・教育成果の達成状況を評価します。さらに、学科の所定の科目の単位取得状況と卒業研究により、教育課程の体系性と専攻分野における知識・技能・態度の達成度とコンピテンシーを総括的に評価します。

##### ・授業科目を対象とする評価

成績分布、授業改善アンケート、および教育目的達成度調査などの結果とカリキュラムマップ詳細版などを用いて、個々の科目の目標の達成度合、達成目標と DP との整合性、授業の内容・方法（能動的学修の充実や質的転換の観点）、成績評価手段などに関する評価を行います。

##### ・学生を対象とする評価

教育目的達成度調査結果、学生調査結果などに基づくポートフォリオ個別面談を行い、

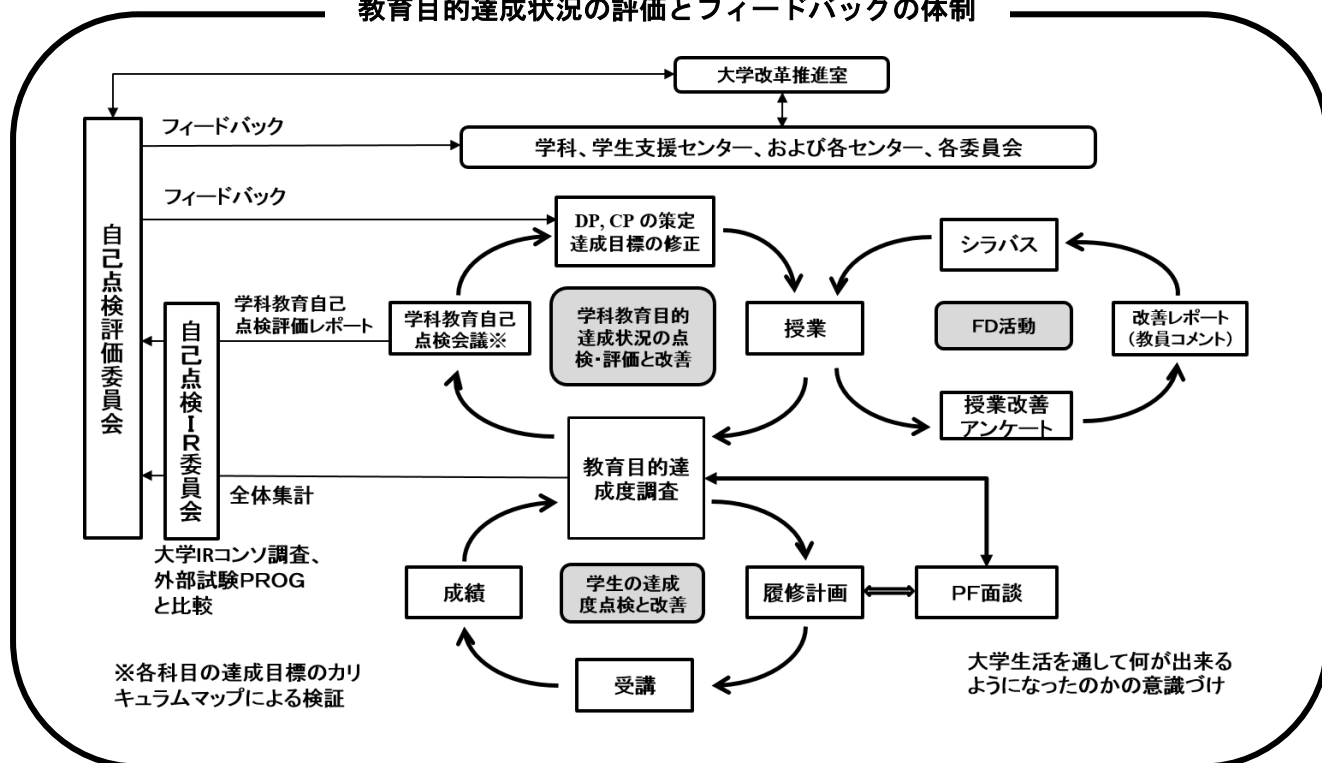
個々の学修成果とコンピテンシーに関する長期的ルーブリックにより、その時点でどの程度教育目標を達成できているかの形成的評価を行います。

学生個々の単位取得状況、GPA、卒業研究などにより、専攻分野における知識・技能・態度の達成度とコンピテンシーを総括的に評価します。

### ■DP、CPに基づく教育とAPの整合性

入学生に求められる学習成果（学力の3要素）について、入学試験結果、新入学生力調査結果、および1年前期に実施される汎用的技能・志向性に関する外部試験結果によって測定を行います。この結果に基づいて、各学科のAPおよび入学者選抜方法の妥当性について評価します。

#### 教育目的達成状況の評価とフィードバックの体制



#### 学科教育自己点検会議における主要な検討事項

学生個々の学修の進捗とともに、

- ①プログラム全体の中で個々の授業科目が学生の能力育成のどの部分を担うかについて教職員の認識が十分か
- ②他の授業科目等と連携・関連し合いながら組織的に教育を展開できているか
- ③学修成果・教育成果をプログラム共通の考え方や尺度で評価し、その結果をプログラムの改善・改革につなげるというPDCAサイクルが回る構造になっているかについて、検証を行います。

# 理学療法学科 アドミッションポリシー

## ① 基本方針

理学療法学科では、「医療専門職である理学療法士として必要な知識および技術と態度を体得させ、卒業直後から指導助言のもとに独力で理学療法士として日常医療に対応できる能力を付与するとともに、理学療法学研究に関する思考力と創造性を有し、理学療法学の進歩に即応しつつ、将来的に高度な知識や技術を有した理学療法士となる基礎を培う」ことを教育目標に掲げて理学療法士を育成し、地域医療の向上に貢献します。

そのために、以下のような資質・能力・意欲を持った学生を受け入れます。

## ② 求める人材像と学力の3要素

求める人材像		知識	思考力	主体性
		技能	判断力	多様性
協働性				
理学療法学科に興味を持ち、医療を通じて社会貢献する意欲を持つ人	→	△	○	◎
理学療法士としての専門知識と技能を高め続けることができる人	→	◎	○	△
理学療法学科を学ぶための基礎学力を有し、高い勉学意欲のある人	→	○	◎	△
	→			
	→			

## ③ 学力の3要素と求める学習成果

学力の3要素

知識・技能	→	学力試験	調査書	発表	推薦書	集団面接
思考力・判断力・表現力	→	学力試験	調査書	発表	レポート	個人面接
主体性・多様性・協働性	→	推薦書	集団面接	自己推薦書	集団討論	

## ④ 求める学習成果と入学者選抜方法

入学者選抜方法	学力試験	調査書	発表	レポート	推薦書	集団面接	個人面接	自己推薦書	集団討論
新ガリレオ入試	→	△		◎		○	△	△	◎
公募推薦入試	→	△	○		○	◎		○	
一般入試	→	◎							
自己推薦入試	→	△	○				○	◎	
大学入試センター試験利用入試	→	◎							
外国人留学生入試	→	○					◎		

## ⑤ 入学前に習得すべき内容・水準

- ・社会における諸問題を解決するため、幅広い分野の基礎知識を習得していること。
- ・高等学校等において、明確な目的意識を持って主体的に学ぶ姿勢を経験していること。
- ・理学療法学科を中心とする学士課程教育を学ぶための必要な基礎学力(国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民)を有するとともに、基本的な概念や原理・法則を理解し、今までの知識や経験をもとに、自分の考えを的確に伝えるコミュニケーション能力を身につけていること。

※記号(◎, ○, △)は重要度の順序を表しています。